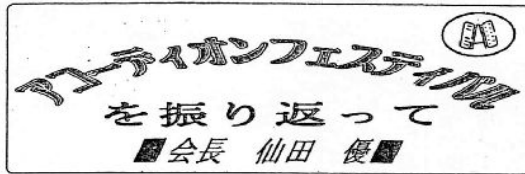


“第23回群馬アコーディオンフェスティバル”の紹介

(群馬アコセンター・ニュース289号の記事から原文のまま転記)

写真は群馬アコセンター仙田氏より提供

■ 日 時 7月13日(日)開演 13:30 ■ 会 場 伊勢崎市総合文化センター ■ 入場無料



第23回アコーディオンフェスティバル(定期演奏会)の成功、おめでとうございます。去る7月13日に行われた当日は晴天に恵まれ、開演前から人が並び、開場してまもなく人で埋まりました。私が挨拶するときにはほぼ満席となり、成功間違いなしと確信しました。

オープニングの「小さな世界」は元気で楽しく演奏できよくまとまっていたと思います。小合奏は、どのサークルもよく練習されており、近年になく差のつけようもない見事な演奏でした。曲目を見ても、演歌あり、タンゴあり、シャンソンあり、マーチあり、ポピュラー、クラシックと多彩な選曲で、聴いている人も飽きが来なかったのではないのでしょうか。又、小合奏も二重奏・四重奏・9人の合奏と変化があり、特に二重奏は見事な演奏でした。休憩の後のコーラスは、地元の団体ということもあり、親しみがあって大変好評

でした。最後の大合奏「威風堂々」は演奏が始まるまで心配でしたが、後半の盛り上がりや、ゆっくりしたテンポも見事に決まり、最後にふさわしい演奏でした。やはり一年半の練習の成果が出たと思います。ただ、最後になって1、2回合同レッスンに参加した会員もいましたがただ出演すればよいというのではなく、それまでの過程が大事ではないでしょうか。これは「小さな世界」の合奏でもいえることです。

最後に部隊の裏方を担当した運営委員の皆さん、大変ご苦労様でした。年輩の方が多かったので、今後の課題です。又、堺サークルの皆さんには大変お世話になりました。ご苦労様でしたと同時にありがとうございました。

以下、上毛新聞の記事より一部転記・・・

150人が出演、息の会った演奏を披露した。旧尾島町(現太田市)出身のアコーディオン奏者、江森登さんの特別演奏も行われ、会場を埋めた750人の聴衆を楽しませた。



